

## ご あ い さ つ

岐阜県立関特別支援学校

校長 高井深雪

岐阜県立関特別支援学校のホームページをご覧ください、ありがとうございます。

当校は昭和41年に岐阜県初の県立養護学校としてここ向山(桐ヶ丘)の地で開校し、今年で56年目を迎えます。開校以来、肢体不自由の児童生徒を教育する中核的な学校として、岐阜県の特別支援教育の一翼を担ってきました。平成27年度には創立50周年の節目を迎えるのに合わせ、従来の肢体不自由の児童生徒に加えて、病弱の児童生徒も対象として新たな歩みを始めております。

### 校 訓

### 尽 力 必 成 (じんりよく ひっせい)

校訓の「尽力必成」は、「力を尽くせば何事も達成できる」という力強い言葉で、建学の精神として今に受け継がれています。



校章は「山査子(さんざし)の花」を図案化したもので、中央にある「Y」は、成長する若芽と開校時の校名「岐阜県立養護学校」の「Y」を表しています。5月になると当校の校庭でも、山査子が白い美しい花を咲かせます。メイフラワー(5月の花)とも呼ばれ、花言葉は「希望」です。

校歌には、「人の世の幸開きゆく」という歌詞があります。今でこそ、多様性を認め、一人ひとりが異なる幸せの在り方を追求することが豊かな社会の実現につながるという考え方は特別なものではありませんが、50年以上前に、障がいのある子どもたちこそが社会の幸せの道標となると歌ったことに、開校に向けての強い期待や夢が込められている重みを感じます。開校から半世紀以上を迎える今、社会情勢は大きく変化していますが、その夢や期待にこたえる学校であり続けたいと思っております。



山査子の花

さて、令和4年度は、小学部2名、高等部5名の新入生を迎え、全校児童生徒40名でのスタートとなりました。児童生徒の自立と社会参加を目指し、毎日「楽しく・明るく・元気に通える学校」であるよう、教職員一同が力を合わせて取り組んでまいります。

なお、このホームページには、当校の概要や学校行事、進路状況、学校評価、地域支援事業等、多くの情報を掲載しています。当校についてご理解を深めていただくとともに、その魅力も知っていただくと幸いです。皆様方の一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

【令和4年4月】